

# 心の原風景 —我が母校—

## 佐渡市立八幡小学校

八幡小学校は、地域の方々とともに環境を大切にすることを学んできました。

平成13年から、「雪の高浜」「越の松原」復活活動を開始し、海岸



地域の方と松の植林作業

清掃や松の植林活動を行ってきました。10年以上もこの活動を続けています。現在も地域の方と一緒に海岸清掃

をして、浜辺をきれいにしています。松については4年生がマツクイムシによる被害にどう対応する

のか、真剣に学んでいます。八幡といえば、八幡イモと

チューリップも有名です。春、ムサシ付近から八幡にぬける沿道に、ずらりと並んだチューリップのプランターに心和む方も多いのではないのでしょうか。このチューリップ



チューリップの球根植え

栽培活動も八幡小学校の児童がかかわっています。八幡銀杏の会の皆様と一緒に二千鉢のチューリップを植えています。この活動は8年も続けられています。5年生はチューリップを使ってスカーフを染め、毎年、文化祭に展示しています。

今年も、さらに、グリーンカーテンを設置することや、給食の残りを有機肥料に活用して八幡イモのたい肥にすることも行っています。

先般、長い間の地道な取組が実り、八幡小学校は「佐渡環境賞」を受賞しました。地域の方とともに活動し、環境を守る心を育てるとともに、地域の活性化につながったことが評価されました。受賞について、

地域の方も喜んでくださいました。これからも、「地域とともに歩む大好きな学校づくり」を合言葉に、地域と足並みをそろえていきます。

教育委員会学校教育課(両津支所内)

☎ 23 | 4 8 9 8

# ジオパーク、推進日記

⑤

## 佐渡にもあった！ 高級石材

高級石材として有名な大理石。世界遺産で有名なインドのタージマハルはこの大理石を惜しげもなく使った豪華な建物です。

この大理石、実は佐渡島の外海府北部ジオサイトでも見ることが出来ます(図1)。

そもそも、大理石とはどんな石なのでしょか？

実は、外海府北部ジオサイトで見られる大理石は、石灰岩の一部がキラキラした結晶に変化したものなのです。大理石の事を、結晶質石灰岩ということがあります。その名の通り、外海府北部ジオサイトで見られる大理石は、ザラメ(砂糖)

の粒のような結晶が集まったように見えます(図2)。

石灰岩は、セメントの材料になる石の事です。私たちの骨や、卵の殻と同じ『炭酸カルシウム』という



図1 大理石が含まれる岩体



図2 砂糖粒のような結晶の集まり

成分でできています。これは、貝殻やサンゴと同じ成分です。石灰岩は、大昔の炭酸カルシウムの殻や骨格を持つ生き物が集まってできた石なのです。それがマグマの熱などによって、結晶の粒が大きくなったものが、大理石と呼ばれます。もともとは同じ「石灰岩」だった石が、何の苦労もない人生(石生?)を送ると、セメントの材料や線路の敷石に。しかし、熱いマグマの熱にさらされるような試練を受けると、高級石材である「大理石」へと変化するので

◆教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室(両津郷土博物館内)

☎ 23 | 2 1 0 0